

令和6年5月21日

大阪狭山市議会議長
鳥山 健様

住所 大阪狭山市半田6丁目1106
TEL [REDACTED]
上谷 元忠 [REDACTED]

大阪・関西万博へ子どもたちを招待することについて慎重な対応を要請します

吉村大阪府知事は府内の4歳から高校生までの子ども約102万人を1回目は府が負担し
2回目以降は市町村の負担で、大阪・関西万博へ招待する計画をしています。

令和6年3月28日、建設中のトイレで溶接作業で出た火花がトイレの地下空欄にたまった
メタンガスに引火し、爆発でコンクリートの床など約100㎡が破損した事故が発生しています。
埋立地の夢洲には昭和60年以降、大阪市内から出た家庭や事務所から出た一般廃棄物
の焼却灰を埋設されており、そこから可燃性のメタンガスが発生しています。

今回のガス爆発の原因はメタンガスとしています。

万博協会から爆発の原因を調べた結果、「ガス濃度の測定が不十分だった」と公表してい
ます。

「底質ダイオキシン処理ヤード」にはPCB(ポリ塩化ビフェニル)汚泥を詰めた約1万袋が埋めら
れていて、安全性に問題があり不安があります。

浚渫土砂の一部から最終処分場排水基準の数百倍もの水銀やPCBが検出されていて、
掘削工事でそれらを含む有害物質が飛散しないか心配であります。

また、大阪湾西側には大阪湾断層帯が存在しており、南海トラフ地震も懸念されており津波対策
が十分できていないなどの多くの問題があります。

学校行事として、新学年がスタートして 5月の連休明けから6月、夏季休業日に入るまでの
7月でおおよそ、学校課業日数50日しかないことを考えれば、大変な混雑が予想されます。

また、子どもの安全を確保するためには、引率する先生方の現地への下見については、

必須であります。子どもの変容を狙う教育の目途から考えてみても展示内容についてほとんどわ
からない状態であります。以上のことから子どもの安全を保障する対策が十分でない

ことであり大阪・関西万博に参加させることについて、慎重に対処することを市議会として

表明することを願います。

